



関市板取の『杉』



■会 長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹 事 伊佐治啓司



関市民 1000 人が参加して創りあげた
シャインカービンアード『関二鳥』

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ

『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES

RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ

『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



本日のプログラム

第 2629 回例会 5 月 10 日(火) 12 : 30

「次年度事業について」

三輪雄彦会員・酒向徳享会員

前例会の記録

第 2628 回例会 4 月 19 日(火) 12 : 30

「地区研修・協議会の報告」

秋柝達也会員

◆開会点鐘

◆会長挨拶



皆さんこんにちは。16日に「2022年地区研修・協議会」に次期委員会委員長の方々とお出でいただきました。中二日での報告で大変だと思いますが、秋柝さん 宜しくお願ひ致します。研修の中で「他人のために尽くすことが自らの幸せであり、喜びであるという他人に

奉仕すること自体を目的とするのが利他主義の思想である。これがロータリーの考えであり【奉仕の理念(理想)】である」というフレーズがありましたが、高いレベルの判断基準を持っていると、あらゆる事がよく見えると云います。悟りを開いた人に相談すると、「それはやってもいい」「いや、それはやめておきなさい」と簡単に結論をくださいますが、そのような人にはあらゆる事が見えているわけです。残念なことに、巷には「自分だけ良ければいい」という本能だけに満たされた凡人が蠢いています。そして、勝った負けた、取った取られた、儲かった損をした、と血みどろの戦いに明け暮れています。そんな中で利他の心を持つ人が世間を見ようというのは、一段高い所から物事を見るようなものですから、全てを見渡せます。正しい判断をしたつもり

で仕事をしている凡人達が、その先でつまづくことになる事が解ってしまうのです。例えば、利他の心を持った人には道の先に「溝」が見えるのでそこからへ行ってはダメだと解るが、自分は正しい道歩いていると思いついて入っている人には「溝」は見えません。「こちらの方が、あちらの凸凹道よりも歩きやすそう」と判断し溝に足を踏み入れ、結局嵌まってしまいます。欲だらけの心には、見えるものも見えなくなるのです。アメリカ ウィスコンシン大学の脳科学研究チームが、脳にはアクセルとブレーキがあることを発見しました。脳のアクセルが活性化していると、気持ちが前向きになり幸せを感じますが、ブレーキの活性が高い状態の場合は物事をネガティブな見方をするようになり、さらにブレーキが強くなると鬱になる事もあります。そこで脳のアクセルの活性が高いのはどのような人なのかを1,000人を対象に調査したところ、一番高かったのは、チベット仏教の僧侶マシュー・リカール氏でした。ヒマラヤで瞑想の修業を始め、ドライ・ラマの通訳を務める人です。研究チームが、リカール氏に協力してもらい頭部に128個の測定装置を付けて脳の活性化を測定したところ、通常の人に比べて脳の活性が高く、さらに利他の心で世界平和や人々の幸せを祈る瞑想をした時には、より活性が高まり通常の人何百倍にもなることがわかり、リカール氏は「世界で一番幸せな人」と言われています。物事を前向きに捉え人々の幸せに貢献することが、自分の脳のアクセルを活性化し、さらに幸せな脳の状態を引き起こすのです。利己的な欲求義務と他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげ実践していくことが「超我の奉仕」の哲学であり、「最もよく奉仕をする者、最も多く報いられる」という実践理論に基づくものではないでしょうか。

◆委員会報告

◎出席委員会 秋栢達也会員

会員 49 名中 出席者 20 名 出席率 40.82%

◎ニコボックス委員会 酒向徳享会員

会長、副会長、幹事の皆さん・・・本日は、先週土曜日に開催されました「地区研修・協議会の報告」を秋栢達也さんに発表して頂きます。参加して頂きました皆様方、長時間の研修誠に疲れ様でした。

次期三役の皆さん・・・地区研修・協議会参加の皆様、長時間に渡りご苦労様でした。会場から堀部さん、亀井さんのお名前が発表された時は、関ロータリークラブの会員で良かったと思います。又、秋栢さん、1人での発表となりましたが、イマジンロータリーで、上手くまとめて頂けると信じてますので、発表を宜しく願います。

秋栢達也さん・・・本日は地区研修・協議会の報告をさせて頂きませんが不慣れな為、お聞き苦しい点は有ると思いますが宜しく願い致します。

堀部哲夫、林隆一、大澤竜一、林昇、杉浦孝志、山田義久、山田一成、酒向徳享、長尾一郎、尾崎嘉彦の皆さん・・・本日は地区研修・協議会の報告と言うことで参加された皆様お疲れ様でした。報告をされる秋栢さん、会場の緊張が伝わってくる発表よろしく願います。

◆「地区研修・協議会の報告」

秋栢達也会員



皆さんこんにちは、お疲れ様です。本日は先週 16 日土曜日に開催されました、国際ロータリー第 2630 地区 2022 年地区研修・協議会の報告をさせて頂きます。出席は加藤会長をはじめ当クラブから 10 名と本部として次期ガバナー補佐の亀井さん、次期ロータリー財団部門委員長の堀部さん、次期社会奉仕委員会委員の長尾さん、次期資金推進小委員会委員の加藤浩二さんの参加です。ちなみに恐くて持ち時間をあえて確認しなかったんですがさすが事務局、昨日 FAX が来てスケジュールを確認したら「卓話」30 分となっていました。資料も無しに 30 分は無理なんで早目に終わると思いますので、ご勘弁ください。また頂いた冊子はプリントミスがあり、もし間違った部分がありましたらご容赦下さい。当日は朝 9 時半に関シティーミナルに集合し、乗り合わせで行きましたが車を出して頂き運転までして頂いた林昇さん有難う御座います、お疲れさまでした。会場は 2630 地区 73 クラブ約 3100 人強のクラブ会員より 1100 人余りの会員が出席され、会場は長良川国際会議場全てと岐阜都ホテルとで開催されましたが、まず規模の大きさに驚きました。クラブ入会依頼コロナ禍の為大きな行事に参加したことがなく、

その規模に 2630 地区が全国 34 地区中、7 番目の会員の多さを実感致しました。用意された昼食の弁当を頂いて 13 時から 40 分ほど、開催セッションがメインホールで行われ、13 時 45 分より 35 分ほど第 1 セッションが行われ休憩後 14 時 40 分より 1 時間半ほどの各分科会に分かれ第 2 セッションが行われましたが、私は奉仕プロジェクト分科会に三輪さんと出席させて頂きました。終了後、16 時 25 分よりメインホールに戻り、30 分ほどの閉会セッションが行われて、16 時 55 分終了というスケジュールでした。先ず、開会セッションでは開会の点鐘より国歌・ロータリーソング斉唱に始まり、ホストクラブ会長挨拶から、ガバナーエレクト、次期地区幹事、ガバナー、ガバナーノミニの挨拶がありました。第 1 セッションでは「次期 RI テーマと地区活動方針」のグループと、会長エレクト・次期 AG・次期 CC 会議グループとに分かれ行われました。私は「次期 RI テーマと地区活動方針」の報告をさせて頂きます。お話は高橋ガバナーエレクトが話されましたが、女性初の次期 RI 会長のジェニファー・ジョーンズさんの RI テーマと活動方針を話されました。2022-23 年度のテーマは「イマジン ロータリー」“想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています”として会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。その意を反映して、地区活動方針として 2022-2023 年度高橋ガバナーより「ロータリーの心と原点」を大切に、描こう明るい未来を！ガバナー方針に（ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を作る。）とされました。ロータリーの心とは「寛容の心を基盤とした友愛と信頼」2つのモットーである「超我の奉仕」・「最も奉仕するもの、最も多く報われる」であり、原点とは「人づくり・真のロータリアンを育てる事」RI 会長方針に成長（Grow Rotary）次年度 RI 会長のジェニファー・ジョーンズさんの「いつも一緒に笑い・夢を描き・希望を抱き・そして成長しよう」とあるように言われていますが、感想として次期 RI 会長、次期ガバナーは一貫して、成長と親睦をうたわれているように思います。強調事項として①地区女性会員比率 8%達成を目指す。※RI 目標 2023 年度 6 月末女性会員比率 30%②マイロータリー登録率 50%達成を目指す。ちなみに、関ロータリークラブ女性比率は 4%強、8%にはあと 2 名必要。検討事項①グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動を検討頂きたい。②10 月 24 日の世界ポリオデーに向けて、市内巡回バスに「ポリオ根絶」のプリントをラッピングして走行させたい。

としています。第1セッション終了後、第2セッション会場に向かい奉仕プロジェクト分科会に出席させて頂きました。長尾先生の司会進行により大変スムーズに始まりました。社会奉仕委員長の挨拶に始まり、鳥羽クラブ、加納クラブ、岐阜東クラブの活動を発表をされました。・鳥羽クラブは鳥羽高生のためのキャリア支援として①鳥羽高生が学ぶ「鳥羽学」、「鳥羽なかもち」フィールドワーク②鳥羽高生が学ぶ「地元企業の仕事」③鳥羽高校校長先生による卓話「グローバルな人材育成のための英語教育に力をそそぎたい！」④鳥羽高生の活動記録のDVD作成 子供達のためのフードパントリーとして①「とぼ地域・こども食堂ねっとわーく」共同開催で「さくらパントリー」②ポリオ支援募金箱を置き、募金活動の実施③とぼ地域・こども食堂ネットワークの活動支援 記憶に残ったのは、鳥羽市から鳥羽高生が消える！年々生徒が少なくなり高校存亡の危機！（在學生で地元鳥羽市出身は20%）鳥羽の歴史文化を学ぼう！ということで、国登録有形文化財「大庄屋かどや」を中心とした鳥羽なかもちフィールドワークを開催されました。・加納クラブは地元産業の和傘、岐阜提灯、岐阜うちわ等の紹介など美濃和紙にかかわる産業を紹介し、加納東町づくり事業で加納まちづくり交流センターの開館を記念して展示物の作成。①加納城のジオラマ作成②和傘の展示③加納の歴史文化の動画作成 和傘は展示用に20本購入し、インテリアとして展示。加納城のジオラマは鶯谷中学生・高校生を使って加納城のジオラマ作成をロータリークラブの補助金、クラウドファンディング等で募金を集めて当初事業策定概算予算案を大幅に圧縮した金額で作ることができ、また現在でも少しずつジオラマ作成を進めているとの事。予算の確保から作成まで非常に考えられた方法でやられたのが印象的でした。・岐阜東クラブの事業として①地域が必要としている社会奉仕活動の支援及び地域の伝統文化を守る。②ケヤキ並木清掃、新荒田川清掃を通じて景観を守る保全活動③地域の皆さんと環境保全を守る。その中で、更生保護法人 洗心乃家の活動支援の話がされました。洗心乃家とは家庭裁判所で保護観察処分を受けた少年、少年院を仮り退所した少年、刑務所を仮釈放された人、保護観察を執行された人、刑務所を短期で出所された人等で身寄りのない人、身寄りがあっても引き受けてもらえない人、家族や公的機関より援助がなく行き場のない人達を国より委託を受けて住居と食事を提供し、基本的には働いて自立する人の支援・指導・援助をする施設である。洗心乃家は全国に103ヶ所の更生施設全ては民間施設で女性専用が7ヶ所ある内の一つである。岐阜東クラブとしては施設にパソコンを寄贈し、指導しながら社会復帰の活動を支援しているとの事でした。あま

り我々には普段馴染みのない施設への支援活動に感銘を受けました。続いて国際奉仕委員会より委員長の挨拶に始まり、名張中央クラブ、美濃加茂クラブの活動を発表されました。・名張中央クラブは青少年育成プロジェクトとして①名張高校総合学科生活デザイン専科の生徒と、伊賀の組紐づくり②名張高校生の地元企業との交流 伊賀の組紐づくりは組紐を使って巾着袋を作り高齢者施設など年配の方々に贈り、高校生と高齢者との交流を図とし、SDGsの観点から会員より着物の古着を提供してもらい作成しているとの事でした。・美濃加茂クラブはグローバル補助金利用事業として、母子健康プロジェクトをあげ、R13330地区タイのサンプラン病院に最新の医療機器の提供、医療従事者への研修を行われました。プロジェクトのきっかけは、2019年に津市で行われた地区大会でタイからの発表をもって発足され、母子死亡率の低減、地域医療の進展を図るものとされました。プロジェクトは美濃加茂クラブ・名張クラブ・名張中央クラブ・鈴鹿ベイクラブ・多治見リバーサイドクラブ・熊野クラブとの共同で行われ、資金は日本円で780万円を調達されたそうです。寄贈されたのは、新生児人工呼吸器・成人用人工呼吸器・耐震心機能レコーダー機・心電図医療器・医療ベッド・真空抽出装置・血圧計・血中測定器等他研修トレーニングプログラムを贈られたそうです。以上分科会での事業報告でした。事業の内容は様々でしたが、クラブ毎に出来る事業を選出し予算組から実行まで大変ご苦労されたことが伺われました。最後に閉会セッションでは、浦田ガバナーより次期開催地のホストクラブ発表、次期開催地の多治見リバーサイドクラブ会長挨拶、劔田直前ガバナーより総評、高橋ガバナーエレクトより地区研修・協議会修了証書授与、閉会挨拶、点鐘で終了しました。地区研修・協議会を開催された岐阜ロータリークラブ及び各クラブから選出された各担当の委員の方々の準備・運営のご苦労に感謝し、報告を終わらせて頂きます。

◆幹事報告

5月の例会予定表配布

次例会のご案内 5月22日(日)
「家族旅行」
5月17日(火) 例会変更